

全国牛乳容器環境協議会
第29回通常総会 次第

2020年 4月21日(火)

15時 ～ 16時

乳業会館 3階 B/C会議室

1. 開会
2. 出席状況及び通常総会成立報告
3. 会長挨拶
4. 議長選出
5. 議事録署名人選出
6. 議事
 - 1) 議決事項
 - 【第1号議案】 2019年度 事業報告（案）
 - 【第2号議案】 2019年度 収支決算 及び 剰余金処分（案）
 - 【第3号議案】 2020年度 事業計画 及び 予算（案）
 - 2) 報告事項
 - 【報告事項1】 2020年度理事会、四半期運営委員会、次回通常総会 日程
 - 【報告事項2】 飲料用 紙容器リサイクル協議会・3R推進団体連絡会 活動報告
 - 【報告事項3】 正副会長の互選について
 - 【報告事項4】 顧問の委嘱
7. その他
8. 閉会
9. 新会長挨拶

★報告書

1. 紙パックリサイクル年次報告書（2020年1月発行）
2. 2019年概要版 飲料用紙容器リサイクルの現状と動向に関する基本調査
3. 飲料用 紙パック 回収システム強化研究会 2019年度レポート

以 上

第29回 通常総会

議 題

2020年4月21日

全国牛乳容器環境協議会

2019年度-事業活動報告

※ プラン 2020 行動計画順に記載

1. 回収力を高める場づくり

1.1 ステークホルダー会議などの充実

- 1) 再生紙メーカー意見交換会 … 今年度は計画せず。
- 2) 第32回-飲料用 紙パッキリサイクル促進 意見交換会
 - 開催日: 2020年_2月13日(木)
 - 開催場所: 乳業会館 3階 B/C会議室
 - 参加者: 57名 ※ 専門委員・事務局 16名を含む
 - ・ 国: 経済産業省 素材産業課・資源循環経済課、農林水産省 牛乳乳製品課
 - ・ 自治体: 千代田区、新宿区、世田谷区、町田市、三鷹市、調布市、八千代市
 - ・ 回収業者・古紙問屋: 大久保、新井商店、東多摩再資源化事業協同組合、山田洋治商店
 - ・ 古紙業界団体: 日本製紙連合会、古紙再生促進センター
 - ・ 再生紙メーカー: 丸富製紙、コアレックス信栄、日本製紙クレシア、日誠産業
 - ・ 原紙メーカー: ストウーラエンソ ジャパン、日本ダイナウェーブパッケージング
 - ・ 市民: 全国牛乳パックの再利用を考える連絡会
 - ・ 調査会社: エコイプス
 - ・ 団体: 紙製容器包装リサイクル推進協議会、印刷工業会液体カートン部会、全国発酵乳乳酸菌協会、東京飲用牛乳協会
 - 内容: 2018年度回収率実績、2019年度直近までの活動内容を報告した。昨年に引続き、再活用(まな板、油入れ等に利用)後に廃棄する分の推計量 9.7千トン及び他の古紙類への混入分 1.0千トン を算入した場合の回収率-試算値(約2.4 ポイント向上)を、参考値として報告した。消費者インターネット調査や欧州視察についても報告した。後半では、各市区における分別実態や東京都における学乳パッキリサイクルの現状等について意見交換を行った。

1.2 地域特性に応じた地域会議の開催とフォロー

地域における現状と課題を把握し、紙パッキリサイクルの促進を図ることを目的に、紙パッキリサイクル促進 地域会議 in 千葉(10月23日)の準備を進めていたが、台風被害状況を考慮し開催を中止した。

1.3 地域の環境活動などへの参加と情報共有

1) 環境イベントへの積極参加

自治体・NP0などが 各地域で開催・出展参加・協力するイベントに対して、クイズパネル等のツールを貸出し、啓発チラシ・トイレットペーパー・ボックススティッシュ等のグッズ類を提供した。 7 件

2) 会員支部組織の活動を支援し、紙パック回収についての啓発機会を提供する。

会員支部組織が行う活動に対し、クイズパネル等ツールの貸与、インセンティブとしてのトイレットペーパーの提供等を行った。 19 件

3) 他のリサイクル団体や地域の環境団体との協働活動

一般消費者への啓発を目的に、店舗でのイベントを実施。

○ 開催日/店舗：2019年12月14日（土） / ライフ八戸ノ里店（大阪府東大阪市）

○ 実施内容

- | | |
|------------------------------|-------------|
| ① 1,000ml 紙パック6枚とボックスティッシュ交換 | 15 名(87枚回収) |
| ② 展示とクイズパネルによる紙パックリサイクル啓発 | 65 名 |
| ③ 手すきはがきづくり体験 | 47 名 |
| ④ 小型紙パックの手開き体験 | 27 名 |

② ～ ④ 啓発・体験者数のべ 139 名

2. 様々な生活の場における回収促進

2.1 生活の場に根ざした回収力向上

1) ライフサイクルを踏まえた回収力向上

- ・ 東京都民間保育園協会（会員数 1,200園）へアプローチし、来年度より牛乳パックリサイクル実施が決定した。まず20園からスタートし、順次対応する。

2) 紙パックマークや環境メッセージの浸透

- ・ 2020年1月に、製品への環境メッセージ掲載依頼文書を発信した。

3) 紙パック回収ボックスの提供

回収拠点の拡大に向け、本年度は 489 個を配布した。

（受付窓口：全国パック連に委託）

4) 飲料メーカーなどにおける実践と啓発

社員に向けての啓発として、

- ・ 雪印メグミルク：社内報（CSRかわら版）に紙パックリサイクル記事を掲載。
- ・ 明治：紙パックリサイクルキャンペーン実施。

5) 排出者にとって易しい回収の促進

注ぎ口付き紙パックの開き方（底から開く）をリサイクル講習会、出前授業、エコライフ・フェアやエコプロのワークショップ等で実演した。



ボトル型紙パックの開き方

6) 地域の環境団体との協働

6月の環境月間以外の地域活動については、会員支部組織の協力に対応した。

2.2 大型牛乳容器(500mlを超える)以外の回収促進

1) 牛乳 500ml以下と牛乳以外の紙パックの回収

地域会議in千葉への準備として、54市町村のうち34市のホームページ調査を実施。500ml以下の紙パック回収について、地域会議資料作成の聞き取りの際、併せて見直しを依頼した。

2) 小型容器のリサイクル

学乳パックのリサイクルに重点を置く（後述）。

2.3 紙パックとしての分別の促進

1) 資源としての紙パック分別排出への啓発活動

市民に対してはエコライフ・フェアのクイズやエコプロの展示説明で、分別排出の重要性を説明した。市町村に対しては、地域会議の事前ヒヤリング等で実施内容について確認した。

2) 他の古紙に排出された紙パックの回収量への計上

2018年度-実績 基本調査より得た推計値(1,000トン)を、前年度に続き基本調査概要版や年次報告書（作業中）の欄外に記載した。

2.4 再活用から資源価値の高い再生紙へ

紙パックの再活用（まな板や工作等）については可能な限り行わないよう、イベント時に啓発した。さらに、まな板や工作に使用した場合であっても、再度紙パックとして分別排出していただくよう併せてお願いしている。2016年度に推計した「再活用後の廃棄量9,700トン」について、ホームページに掲載し、外部からの問合せに対応できるようにしている。

2.5 屋外や店舗等で飲まれる紙パックの回収促進

1) 屋外で飲まれたあとの紙パックの回収の検討

購入後直ちに外で飲まれたあとの紙パックについては有効な対策がなく、ペンディング状態である。

2) 職場や学校などで飲まれた紙パックの回収

職場への持ち込みや高校・大学などでの紙パックについては体系的に進んでいない。

3) 外食産業などの店舗で使用される紙パックの回収

「ドトール」「タリーズ」での紙パック回収については賛助会員等の協力により継続検討中。

3. 教育や学習の場における活動の促進

3.1 教育・学習とリサイクルの協調

1) 紙パックリサイクルを通した環境教育・学習の推進

a) 紙パックリサイクル 出前授業・・・8校実施

主に小学4年生を対象に、紙パックの特徴、森林管理、分別排出・リサイクルの大切さを講義し、手すきはがきづくりの体験学習を行った。

- | | | |
|---|---------------------------|--------------|
| ① | 5/15（水）山梨県 大月市学童クラブなのはな | 2-6年生18名+保護者 |
| ② | 6/25（火）大阪府 堺市立熊野小学校 | 4年生45名 |
| ③ | 7/10（水）福岡県 北九州市立折尾東小学校 | 4年生46名 |
| ④ | 9/27（金）佐賀県 吉野ヶ里町立東脊振小学校 | 4年生62名 |
| ⑤ | 10/ 8（火）大阪府 大阪市平野区立長吉南小学校 | 5年生61名 |
| ⑥ | 1/15（水）広島県 広島市立河内小学校 | 4年生24名 |
| ⑦ | 1/28（火）岡山県 新見市立本郷小学校 | 4-6年生43名 |

以下の学校では学乳パックリサイクル対応として牛乳パック手開きも行った。

⑧ 1/29（水）墨田区立中和小学校

全学年 301名

合計 600名(前年度460名)

※ 3/5北区立第四岩淵小学校(4-5年生54名)は新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期

b) 工芸コンクール

ものを大切にすることや環境学習などへの支援の一環として、第19回「牛乳紙パックで『遊ぶ学ぶ』コンクール」に協賛した。毎年の募集案内に加え、イベント委員会メンバーが今年も 乳協/広報部に帯同して、東京都・神奈川・埼玉・千葉県の各教育行政窓口を訪問し応募を呼びかけた。



表彰式後の記念撮影

なお 12月_7日、エコプロ 2019 のブース内で、受賞者 7名を表彰した。

	2019	2018	2017	2016	2015	2014
応募作品数（点）	2,316	2,353	2,610	3,089	2,828	2,720
参加総数(口数)*	239	240	270	292	318	339
参加-都道府県数	40	41	41	42	42	39

*小学校応募と個人応募の合計

2) 紙パックリサイクル講習会の開催 ・ ・ ・ 2回

紙パックリサイクルを正しく理解し実践してもらうことを目的としてリサイクル講習会を開催した。紙パックリサイクルの現状、紙の原料となる森林の管理状況、「洗って、開いて、乾かして」の回収ルールを説明し、手すきはがきづくりを通じて、紙パックのパルプが上質な資源であることを体感してもらった。

① 7/25（木）久留米市宮ノ陣クリーンセンター 80名、うち児童他53名

② 8/ 6（火）相模原市橋本台リサイクルスクエア 44名、うち児童他21名

計 124名(前年度4回 201名)

3) 学校を核とした回収力の強化

好事例として、相模原市立横山小学校と横浜市立上末吉小学校を取材した。

3.2 学乳パックの回収率向上

1) 学乳パック関係者との連携強化

(1) 日本乳業協会都府県協会（問合せ対応）

(2) 川崎市環境局ならびに市民（情報提供とリサイクル後のフォロー）

(3) 東京都教育庁および環境局（情報提供）

2) 効率的な学乳パックのリサイクルシステムについての情報提供

(1) 学乳パックの開き方やよく尋ねられる内容と返答、実施学校の情報などをまとめ、全国パック連の協力を得てリーフレットを作成した

(2) 日本乳業協会、全国乳業協同組合連合会、

東京都教育庁・教育委員会・小中学校、
原料問屋、川崎市環境局などへ配布した。

(12月12日現在、約2万3,500部配布)

3月31日現在、約2万5,200部配布)

- (3) 都内小学校2校から学乳パックリサイクル指導を兼ねた出前授業の依頼があり、1校は実施したが、1校は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、延期となった。



学乳パック洗浄の様子

4. コミュニケーションの充実

4.1 ステークホルダーとの対話と協調

1) さまざまなステークホルダーとのコミュニケーションの充実

(1) 「全国牛乳パックの再利用を考える連絡会」との連携

- a) 第13回-環の縁結びフォーラム（11月21日、TKP新宿 55名） ※当会は協賛者

「紙パッカリサイクル循環システムの現状と今後」と題し、マスコー製紙（株）、（有）古紙ジャーナル社、ヴェオリア・ジェネッツ（株）を講演者として招き、調査会社をモデレーターとしてパネルディスカッション形式で進行。中国廃棄物輸入制限の影響による、古紙の価格低下と廃プラ処理費用の高騰についての現状と今後について議論を展開した。

容環協からは城端会長が来賓として参加。当会事務局・専門委員は例年通り、会場準備・設営、進行補助を担当した。

b) 紙パック回収システム強化研究会

- ① 10月20日（水） 第13回（TKP神田、27名）

紙パック類の残渣処理問題 … プラスチック容器包装リサイクル推進協議会

- ② 2月 7日（金） 第14回（TKP神田、27名）

牛乳パック取り扱い古紙問屋の実態 … ダイワックス都市環境研究所
関西ミルクロードの活動について … NPO法人碧いびわ湖

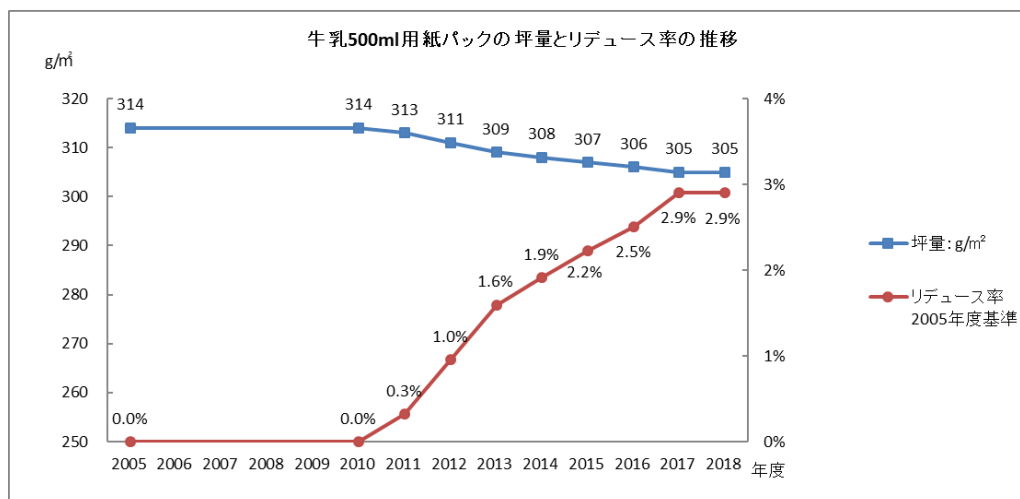
(2) 飲料用紙容器リサイクル協議会（飲紙協）

当協議会の上部組織、容器包装3Rを推進する3R推進団体連絡会を構成する飲紙協が定めたりデュース目標「500ml-牛乳パックの約3%軽量化を2020年度までに達成する」について、乳業メーカー及び容器メーカーで取組んだ結果、

2018年度-リデュース実績値 2.9%（前年 2.9%）

2006年度からの累計削減量 2,098トン（前年まで 1,746 トン）

となった（次ページグラフ参照）。



※ 容環協 - 飲紙協 - 3 R推進団体連絡会 組織は以下の通り。

● 3 R推進団体連絡会（設立：2005年12月）

- 1) ガラスびん3 R促進協議会
- 2) P E Tボトルリサイクル推進協議会
- 3) 紙製容器包装リサイクル推進協議会
- 4) プラスチック容器包装リサイクル推進協議会
- 5) スチール缶リサイクル協会
- 6) アルミ缶リサイクル協会
- 7) 飲料用紙容器リサイクル協議会（飲紙協）
- 8) 段ボールリサイクル協議会

● 飲料用紙容器リサイクル協議会(1997年3月)

- 1) 全国牛乳容器環境協議会(1992年8月)
- 2) 一般社団法人 全国清涼飲料連合会
- 3) 一般社団法人 日本果汁協会
- 4) 一般社団法人 全国発酵乳酸菌飲料協会
- 5) 酒類紙製容器包装リサイクル連絡会
- 6) 印刷工業会液体カートン部会

(3) 3 R推進団体連絡会（飲紙協事務局として）

意見交換会、市民リーダー育成事業、3R推進フォーラム等の行事に参加。

(4) 紙製容器包装リサイクル推進協議会

組成分析調査に参加（6/24 北見市）。得られた紙パック混入率に係るデータは、回収率調査に反映させている。

(5) 公益財団法人 古紙再生促進センター

紙パックはかつては禁忌品だったが「洗って開いて乾かして、分別排出することを前提に、古紙として認定されている。作文・ポスターコンクール審査に審査員として参加し、表彰式に立ち会っている。

(6) 市民への直接啓発

紙パックの可燃ごみへの排出防止をねらいとして、昨年度の町田市に続き、今年度は三鷹市有料ごみ袋の外装袋に広告を掲載した。



三鷹市有料ごみ袋外装袋

4.2 再生品の利用促進

1) 再生品の率先利用

従来からの紙パック再利用品（ボックスティッシュ・トイレットペーパー・ぬりえうちわ）にウェットティッシュを加え、エコライフ・フェア、エコプロ、各地啓発イベントの景品として活用した（啓発目的以外の場合は買上げてもらう）。

2) 紙パック再生品の展示 … 上記各イベントで展示。ホームページで紹介。

3) 牛乳パック再利用マークの普及促進 … エコプロでは「牛乳パック再利用マーク普及促進協議会」との共同出展とし、商品の展示説明を行った。

4.3 様々なイベント等への参画

1) 環境イベントへの参画によるコミュニケーション

「エコライフ・フェア 2019」と「エコプロ 2019」に計画通り出展し、紙パックリサイクルの啓発を行なった。

(1) エコライフ・フェア 2019

- ◇ 開催日： 6月1日(土)、2日(日)
- ◇ 開催場所： 代々木公園
- ◇ 主催： 環境省
- ◇ 来場者数： 36千人… 主催者発表（前年 43千人）
- ◇ 出展内容：

ワークショップテントにて、1日1回、紙パックリサイクル教室を開催。紙パック入り牛乳(200ml)を提供して、飲み終わった紙パックを手開き体験してもらった。また、ブースでは展示パネルにより、紙パックの特徴・リサイクルについて説明。隣のコーナーで 手すきはがきづくり、工作を通して紙パックの品質の高さやリサイクルの大切さを理解してもらった。

◇ ブース訪問者数：

	計	牛乳パック手開き ワークショップ	展示説明	一日目手すきはがき づくり/二日目工作
2日間 計	654 (前年805)	57	391	206 (うち工作120)

来場者数 35,618人(前年 43,347人) → 来場者数 比 1.84% (前年 1.86%)

(2) エコプロ 2019『持続可能な社会の実現に向けて』

- ◇ 開催日： 12月5日(木) ～ 7日(土) 3日間
- ◇ 開催場所： 東京ビッグサイト（西4 ホール「楽しく学ぼう容器包装 3R」コーナー）
- ◇ 主催： (一社) 産業環境管理協会、日本経済新聞社
- ◇ 入場者数： 148千人… 主催者発表（前年 162千人）
- ◇ 出展内容：

東京2020オリンピック・パラリンピック(1年後の延期が決定)の影響により、今回は西棟での開催となった。前年同様「ワークショップ」「卓上展示」「手すきはがきづくり」のコーナーを設けて紙パックリサイクルの啓発を行なった。ブースは6コマとした。

「ワークショップ」では、200ml 紙パック牛乳を提供し、DVD視聴・クイズ・飲み終わった紙パックの手開き体験を通じてリサイクルへの理解を深めてもらった(牛乳無償提供: 協乳、江崎グリコ、明治、森永、雪乳の6社計431個)。今年はボトル形状の注ぎ口付き紙パックの開き方を紹介し、実際に手開きを体験してもらった。

「展示」では、6つのセクションで 見る・触る体験、クイズ等により、森林管理、紙パック製造工程と特長、使用済み紙パックの排出ルール、再生紙工場での製造工程、リサイクル商品について、来場者一人ひとりへの説明・Q&Aを通して リサイクルの大切さを呼びかけた。

「手すきはがきづくり」では、紙パックの再生パルプからはがきを手づくりすることにより、紙パックが良質のパルプからできていることを体験してもらった(牛乳パック再利用マーク普及促進協議会が担当)。



ワークショップ



展示説明

◇ ブース訪問者数:

	計	牛乳パック手開 きワークショップ	展示説明	手すきはがき づくり
3日間 計	1,718 (前年1,794)	415	814	489

来場者数 147,653人(前年 162,217人) → 来場者数比 1.16%(前年 1.11%)

(3)地域の環境イベント参加によるコミュニケーション

a) 「第8回 CC等々力 エコ暮らしこフェア」への参加

- ◇ 開催日時: 7月27日(土) 15時~18時30分
- ◇ 開催場所: 等々力緑地内 等々力陸上競技場 場外イベント広場
- ◇ 主催: (株)川崎フロンターレ、富士通(株)川崎工場、
(公財)川崎市公園緑地協会、川崎市(環境局・中原区役所)
- ◇ ブース来場者数: 60人(整理券方式)(参考: 試合観戦者概数 22,700名)

◇ 概要:

2018年エコプロ時に出席を要請された。川崎フロンターレの試合前にサポーター対象に行うというユニークなイベントであり、専門委員による「手すきはがきづくり」「森林管理・紙パッキリサイクル展示説明」の内容で出展した。



エコ暮らしフェアブース

b) 「2019 八千代どーんと祭」への参加

- ◇ 開催日時: 10月20日(日) 10時~16時 (19日は雨天中止)。
- ◇ 開催場所: 八千代総合運動公園多目的広場
- ◇ 主催/後援: 八千代どーんと祭実行委員会/八千代市農業協同組合・八千代商工会議所・八千代市
- ◇ ブース訪問者数: 446人
- ◇ 概要:

千葉県八千代市クリーン推進課より出展依頼があり、パネル展示とリサイクルクイズでの対応とした。ブース総数は78で、容環協はクリーン推進課と合同の「リサイクルプラザ」ブースで啓発を行った。環境イベントではないが、エコライフ・フェア2日分相当の集客があった。

4.4 インターネットなどによるコミュニケーション

1) ホームページの拡充

活動内容を中心に、コンテンツ更新を実施した。

2) インターネットメディアの活用

- (1) 動画「注ぎ口付き紙パックの開き方」を作成し、HPへ公開した。
- (2) AR (拡張現実) の応用による普及啓発

前年度に構築したARを今年度も活用し、8月のリサイクル講習会と12月のエコプロでの啓発に活用した (スマートフォン専用アプリで、冊子「もったいないものがたり」の表紙を読み込ませることで、「牛乳パッキン」を動かしたり、啓発動画やホームページに誘導する)。

3) 調査分析活動と情報提供

(1) 基本調査

2018年度-紙パック回収率 調査結果

【 報告書 2. の 2-3ページ 】

紙パック回収率 (損紙・古紙含む)	42.5% (前年度 43.4%)
使用済み紙パック 回収率	33.9% (前年度 34.9%)

- ・ 原紙使用量は 0.4千トン増えた。紙パック輸出量が1.9千トンと無視できないため、今年度から原紙使用量から輸出量を差し引くこととした。

- ・ 紙パック商品出荷量は2.2千トン増となったが、行政回収・集団回収・店頭回収のすべてで回収量が減少した。

(2) 消費者インターネットアンケート調査

紙パック飲料の違いと注ぎ口の有無によって、消費者の処理行動に与える影響を調査した（酒類を除く大型容器を対象）。牛乳については全体値よりも約10ポイント高い 43% が紙パックとしてリサイクルに出されているが、発酵乳乳酸菌飲料・果汁飲料・清涼飲料はそれよりも低い比率しかリサイクルされていないことがわかった。

また注ぎ口がない紙パックについては38%がリサイクルに出しているが、注ぎ口付き紙パックは30%であった。ホームページにて公表済み。

(3) 紙パックリサイクル 年次報告書の発行 【 報告書 1. 】

2019年暦年の活動について記した「2020 紙パックリサイクル 年次報告書」は、2020年 1月発行し、2月より配布を開始した。

(4) 組成分析調査

a) 雑がみ中の紙パック調査（容環協:8月24日実施）

家庭紙メーカー協力のもと、愛知県の雑がみを対象に調査実施した。

b) 酒パック等組成調査（印刷工業会液体カートン部会：11月12日実施）

生協及びスーパーマーケット回収品を対象とした調査に参加した。飲紙協構成団体にも働きかけ、酒類容器包装リサイクル推進連絡会が参加した。

(5) 古紙市場における紙パックの実態調査

昨年度調査をさらに深堀するため、全国パック連を委託先として、古紙問屋・古紙業界団体などにヒヤリングを行った。2月7日の紙パック回収システム強化研究会にて中間報告を実施した。

4.5 国際的連携の推進

1) 海外組織との連携・情報提供

(1) 欧州視察

6月29日から7月7日まで、フィンランド、ベルギー、イギリスを会長他9名で視察した。報告書をホームページ（会員専用ページ）にアップロードした。

(2) スリランカ政府視察団（会員企業・事務局対応）

学乳パックリサイクルシステムに関して、6月12日に会員企業とともに情報交換並びに意見交換した。

以 上

2019年度 会計収支決算書

自 2019年4月 1日
至 2020年3月31日

〔収入の部〕				(単位:円)
科 目	予算額	決算額	差引	摘 要
繰越金	35,958,092	—	—	
拠 出 金	67,202,000	67,522,432	−320,432	未収2会員 20,000円 手数料未納1件 108円 過年度拠出金 ▲340,540円
その他事業収入	1,000,000	1,000,000	0	牛乳紙パックで遊ぶ学ぶコンク ール協賛金(日本乳業協会)
雑 収 入	0	0	0	
収入合計	68,202,000	68,522,432	−320,432	
〔支出の部〕				
事業費	58,330,000	60,372,913	−2,042,913	
事務費	12,550,000	12,307,884	242,116	
支出合計	70,880,000	72,680,797	−1,800,797	
差引収支差額	−2,678,000	−4,158,365	1,480,365	
剰余金	—	31,799,727	—	(通常総会にて審議)

(単位:円)

〔支出の部 ①事業費〕

科 目	予算額	決算額	差引	摘 要
事 業 費	58,330,000	60,372,913	-2,042,913	
1. 普及・啓発事業費	25,115,000	24,326,187	788,813	1. 消費者啓発費 ・エコプロ2019出展 ・自治体等環境イベント出展 ・年次報告書発行 ・ホームページ拡充 2. 小中学生啓発費 ・「遊ぶ・学ぶ」コンクール協賛(乳協分含む) ・出前授業 3. 共通啓発費 ・冊子「もったいないものがたり」制作等
2. 回収促進事業費	7,165,000	7,170,182	-5,182	1. 地域による回収率向上 ・リサイクル講習会 2. 回収拠点拡大事業 ・回収ボックス製作、配付、管理 ・拠点拡大フォローアップ ・ステークホルダー意見交換会 3. 組織強化事業 ・支部組織強化対策 ・飲料用紙パック回収システム強化研究会 ・回収率アップ調査(組成調査等)
3. 3R推進団体連絡会事業費	2,010,000	1,963,000	47,000	飲料用紙容器リサイクル協議会負担金
4. NPO支援事業費	4,860,000	4,723,439	136,561	1. 全国パック連賛助会費 2. 環の縁結びフォーラム協賛費 3. リサイクル製品利用促進(製品保管費、輸送費含む)
5. 企画・調査事業費	17,580,000	20,637,005	-3,057,005	1. 飲料用紙容器リサイクルの現状と動向に関する基本調査報告書 2. 行動計画「フロン2020」補完調査 3. 古紙原料問屋調査 4. 欧州視察(フィンランド、ベルギー、イギリス)
6. 旅 費	700,000	832,965	-132,965	出張旅費
7. 会 議 費	700,000	662,047	37,953	専門委員会会場費他
8. 交 際 費	200,000	58,088	141,912	活動費補助他

〔支 出 の 部 ②事務費〕

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差 引	摘 要
事 務 費	12,550,000	12,307,884	242,116	
委 託 費	11,000,000	11,000,000	0	(一社)日本乳業協会委託費
通信運搬費	700,000	643,351	56,649	郵便・宅配便、 メールアドレス・メールリングリスト
印刷製本費	100,000	103,583	-3,583	コピー機使用料
旅費交通費	60,000	49,964	10,036	電車、バス、タクシー代
消 耗 品 費	70,000	80,416	-10,416	コピー用紙、文具費、名刺等
備 品 費	20,000	0	20,000	-
手 数 料	120,000	119,502	498	振込手数料・web手数料、 システム使用料
雑 費	70,000	0	70,000	-
広告宣伝費	90,000	72,200	17,800	業界誌広告掲載費 2件
諸 会 費	210,000	210,000	0	1. 集めて使うリサイクル協会 2. 3R活動推進フォーラム 3. 東京都リサイクル事業協会
交 際 費	40,000	2,268	37,732	事業に直接関わらない費用
租 税 公 課	20,000	26,600	-6,600	収入印紙代
予 備 費	50,000	0	50,000	共通予備費

貸借対照表

2020年3月31日現在

〔資産の部〕

(単位:円)

科 目	金 額	摘 要
流動資産計	31,799,727	
現金	27,111	
普通預金	29,339,838	預入先:みずほ銀行麴町支店
貯蔵品	2,432,778	書籍「紙パック宣言」、BOXティッシュ、回収ボックス(通常サイズ、1/2サイズ)、トイレトペーパー
固定資産計	0	
資 産 合 計	31,799,727	(A)

〔負債の部〕

科 目	金 額	摘 要
流動負債計	0	
預かり金	0	
固定負債計	0	
負 債 合 計	0	(B)

〔正味財産の部〕

正味財産合計	31,799,727	(A)-(B)
負債及び正味財産合計	31,799,727	

上記の通りであります。

監査の結果、正確なることを認めます。

2020年4月10日

監 事

監 事

2019年度 剰余金処分（案）

2019年度 剰余金 金 額 31,799,727 円

これを次の通り処分する。

2020年度 繰越金 金 額 31,799,727 円

以 上

2020年度-事業計画（案）及び 予算(案)

自主行動計画「プラン 2020」における 回収率 50%以上 を目標に、4つの委員会の事業間連携を深めて、効率の高い事業として進めて行く。新型コロナウイルス感染拡大防止対策として政府は4月7日に1都7県に「緊急事態宣言」を発出し、さらに4月16日には全国に拡大した。上半期の事業はほとんどが延期されるため、つど状況を確認しながら進めていく。

【1】事業収支

< 収入 >

2020年度の拠出金は、対象期間の国内紙パック販売量が前年度より減少したことより、前年度予算に対して 326千円減 の見込み。その他収入として、日本乳業協会よりの「牛乳紙パックで『遊ぶ学ぶ』コンクール協賛金」や、会員によるボックスティッシュ買上げを予定し、前年度予算差 +474千円 を見込む。

< 支出 >

2020年度の支出は収支均衡を基本とし、次期行動計画策定費用等を織り込むが、各事業で費用を見直し、前年度予算を 2,204千円 下回る事業計画を予定する。

【2】事業計画

1. 普及啓発事業

① 消費者啓発

- a) 知名度が高く、普及効果が高い「エコプロ」へのブース出展を例年通り行う。開催日は例年より1週間早く 11月26日から28日まで。6小間出展で計画する。
- b) 自治体等環境イベントに関しては、環境省主催「エコライフ・フェア（延期）」ブース出展に加え、啓発対象拡大を目的として新規イベントへの出展を計画する。
- c) ホームページについて拡充等については、スマートフォンでの閲覧を考慮した改修や新規広報手段の導入等により、紙パックリサイクルの啓発に繋げるべく、150千円増 を見込む。

② 小中学生啓発

- a) 「牛乳紙パックで『遊ぶ学ぶ』コンクール」を実施する。事務局委託先が変更となるため、予備費を含め前年予算差300千円増 の 5,800千円 とする（乳協/企画・広報部の協賛・協力 1,000千円を見込む）。コンクール事務局 及び 容環協/イベント委員会で企画・立案し、紙パックリサイクルの啓発 及び 牛乳の普及を目指した活動とする。
- b) 小学校 出前授業は、例年通り 全国パック連との連携事業と位置づけ、8回 計画する。学乳パックリサイクルのフォローを想定し、関東地域を中心に計画す

る。新規実施校には書籍「紙パック宣言」を配布し図書館用等で活用いただく。

③ 共通（パンフレット、リーフレット）

啓発ツールであるパンフレット、リーフレット類は、自治体等、地域リサイクルセンター等からの要望も多く、必要量の増刷を行う。

2. 回収促進事業

① 地域回収率向上

- a) 地域会議については、回収力向上に効果的な地域を選定し、準備、開催、フォローを一連ととらえ、2019年度に予定していた千葉県で開催する。ファシリテーター（進行役）導入等で、300千円増を見込む。
- b) リサイクル講習会は、2回予定する。例年通り全国パック連との連携事業と位置づける。少人数開催を避け、一回あたりの啓発効果を高めることとする。

② 回収拠点拡大事業

- a) 回収ボックス事業では 400個配布を見込む。在庫は「貯蔵品扱い」として、配付数に合わせて経費処理する。
1/2 サイズ回収ボックスは、在庫29個分の配布 200千円を見込む。
- b) 拠点拡大フォローアップとして、流通や自治体等とタイアップして店頭回収の活性化を目的に、「店頭におけるリサイクル啓発」を 全国パック連との連携事業と位置づける。前年同の 1か所を計画、実施する。

前年度に見合わせた再生紙メーカーとの情報交換会については、年度内の実施を計画する。また、例年2月に実施している意見交換会については、内容見直しも検討する。

③ 組織強化事業

- a) 支部組織強化対策には、容環協/専門委員派遣 並びに 地域サポーターが参加する地域普及啓発イベントや自治体等の環境イベントへの支援ツールである、クイズパネルとトイレトペーパーを活用する。
- b) 古紙問屋や製紙メーカーの協力を戴きながら、「他の古紙」への紙パック混入量や「注ぎ口付き紙パック」量の把握等を目的とした組成分析調査を計画する。また、紙製容器包装リサイクル推進協議会・印刷工業会液体カートン部会主催の組成調査にも参加し、他の古紙への紙パック量に関する情報提供を受ける。

3. 3R促進事業

飲紙協構成団体に対して牛乳以外の紙パック回収促進を働きかける。飲紙協への負担金は、前年度とほぼ同額を見込む。

4. NP0等 支援事業

- ①② 全国パック連の賛助会員として、例年通り 賛助会費を計上する。例年実施の

第3号議案

「環の縁結びフォーラム」に協賛する。

- ③ 容環協/ボックスティッシュは例年通り容環協及び会員イベントで活用する。「貯蔵品」扱いとして、配付数・買上げ数に応じて経費処理する。

5. 企画・調査事業

- ① 紙パブリックリサイクル基本調査を例年通り行い、回収率や動向を把握する。「他の古紙として回収された後に紙パックとして選別・回収されながらも回収量に計上されていないもの」の計上を検討する。
- ② 次期行動計画「プラン2025（仮称）」プロジェクト費ならびに補完調査費として、前年度差 1,100千円の 3,300千円 計上する。
- ③ 古紙原料問屋の独自回収量調査を例年通り実施する。
- ④ 海外視察調査は実施しない。

6. 7. 8. 旅費交通費、会議費、交際費

合計額は前年度予算と同額とする。

9. 事務費

前年度予算と同額とする。

以 上

取扱注意

2020年度 予算(案)

収入の部

(単位:円)

科 目		2020年度予算(案)	2019年度計画	前年度差
繰越金		31,799,727 (通常総会時で審議後に確定)	35,958,092	-
拠出金		66,876,000 (▲326千円) 2020拠出金減少	67,202,000 (▲1,998)	▲ 326,000
(うち過年度拠出金)			(340,540) 過年度拠出金	-
その他事業収入	1,800,000	(+800千円) ABMB協賛金、ボックスティッシュ140ケース(見込み)	1,000,000	2018年度実績と同額 800,000
雑収入	0			0
当年度収入合計	68,676,000	(+474千円)	68,202,000	474,000
収入合計	100,475,727		104,160,092	-

支出の部

科 目		内 訳		2020年度予算(案)		2019年度計画		前年度差	
支出合計				68,676,000		70,880,000		▲ 2,204,000	
【1】事業費				56,126,000	(▲2,204千円)	58,330,000	(+3,250千円)	▲ 2,204,000	
1. 普及啓発 事業費				24,940,000	(▲175千円)	25,115,000	(+1,235千円)	▲ 175,000	
	①消費者啓発	・エコプロ		8,000,000	▲200千円 スtockヤード1小間削減効果等	8,200,000	実績勘案	▲ 200,000	
		・自治体等環境イベント	エコライフフェアほか	700,000	▲30千円 出展イベント費用、牛乳購入費、備品費、視察費等	730,000	新規地域イベント検討	▲ 30,000	
		・ホームページ拡充等		2,000,000	+150千円 +HP改修費、自治体広告費等追加、AR削減	1,850,000	新規広報手段考慮	150,000	
		・年次報告書	英語版含む	4,000,000	▲550千円 英語版作成不要のため	4,550,000	英語版パンフレット作成費込み	▲ 550,000	
	②小中学生啓発	・遊ぶ学ぶコンクール協賛	バック意匠含む	5,800,000	+300千円 新事務局見積額+諸経費(謝礼入賞者旅費、会場費)	5,500,000	事務経費委託(容環協、乳協)	300,000	
		・出前授業	紙バック宣言配布含む	2,440,000	+40千円 5回以上/年 実績勘案し8回分を計上(バック連連携)	2,400,000	8回/年 (バック連連携)	40,000	
	③共通	・啓発冊子・チラシ類作成増刷	作成費 保管料運搬料	2,000,000	+115千円 冊子3、チラシ1増刷(バック連連携) 学乳手引き増刷	1,885,000	増刷予定冊子あり	115,000	
2. 回収促進 事業費				6,876,000	(▲289千円)	7,165,000	(+885千円)	▲ 289,000	
	①地域回収率向上事業	・地域会議		700,000	+300千円 ファシリテーター導入 千葉で開催	400,000	実績勘案	300,000	
		・リサイクル講習会		640,000	+40千円 2回実施(バック連連携) +牛乳購入費等	600,000	2回/年(バック連連携)	40,000	
	②回収拠点拡大事業		回収ボックス(ハーフ)	200,000	▲50千円 2020年度中に全在庫配布を目指す(@6156×29個)	250,000	在庫31個を配布	▲ 50,000	
			・回収ボックス製作、 配付、管理費	回収ボックス(通常)	1,500,000	+885千円 1000個作成、400個配布(@3672×400) (昨年度予算計上ミスを修正)	615,000	300個配布	885,000
			保管費、運搬費	650,000	+50千円 実績勘案、新規作成成分考慮	600,000	実績勘案	50,000	
			・全国20事例集	50,000	第5集作成準備費用(取材費等)	50,000	第5集作成準備費用 (取材費など)	0	
			回収拠点フォローアップ	720,000	+370千円 2回実施(バック連連携) +牛乳購入費等	350,000	1店舗(バック連連携)	370,000	
	③組織強化事業		ステークホルダー 意見交換会 再生紙メーカー 情報交換	400,000	前年同額を計上	400,000	学乳説明会分増	0	
			・支部組織強化対策	トイレットペーパー 運搬費・保管費	450,000	+50千円 実績勘案、地域イベントでの配布数増加考慮	400,000	実績勘案により増額	50,000
			アンケート集計他	150,000	▲150千円 業者見直効果による削減	300,000	アンケート活用方法検討 を含む	▲ 150,000	
			・回収率アップ調査費	組成調査、 強化研究会他	916,000	▲2,284千円 強化研2回、組成調査実施・参加他	3,200,000	前年度実施の調査 継続	▲ 2,284,000
3. 3R促進 事業費			2,000,000	(▲10千円)	2,010,000		▲ 10,000		
	①飲紙協		飲紙協負担金	2,000,000	▲10千円 飲紙協負担金算出方法変更による	2,010,000	容環協2019負担分	▲ 10,000	
4. NPO等支援 事業費 (市民・行政・ 事業者の連携 強化)				5,560,000	(+700千円)	4,860,000	(±0)	700,000	
	①賛助会費	・全国バック連、バックマーク促進協		3,010,000	実績勘案(賛助会費等)	3,010,000	前年同額	0	
	②全国バック連	・回収BOX管理費		650,000	実績勘案	650,000	実績勘案	0	
		・環の縁結びF協賛金		1,050,000	協賛金および諸費用	1,050,000	諸費用を見込む	0	
	③リサイクル製品促進	・ボックスティッシュ製作、 配付、管理費	ボックスティッシュ	700,000	+650千円 140c/s引取見込み 在庫考慮し100c/s作成	50,000	10ケース(大口引取 なし)	650,000	
		運搬費、保管費	150,000	+50千円 ティッシュ新規作成増加分を考慮	100,000	実績勘案	50,000		
5. 企画・調査 事業費				15,150,000	(▲2,430千円)	17,580,000	(+2790千円)	▲ 2,430,000	
	①基本調査			10,800,000	実績勘案	10,800,000	実績勘案	0	
	②行動計画関連調査			3,300,000	+1,100千円 プラン2025(仮称)プロジェクト(1,800千円) 店頭回収実態調査実施(1,500千円)	2,200,000	WEB調査(定点調 査)を検討	1,100,000	
	③古紙原料問屋調査			1,000,000	実績勘案	1,000,000	実績勘案	0	
	④海外視察調査			0	▲3,500千円	3,500,000	北欧視察費用 (容環協負担分)	▲ 3,500,000	
	⑤国際連携費	・諸外国情報交換他		50,000	▲30千円	80,000		▲ 30,000	
6. 旅費交通費	上記1～5の事業に関わる旅費			800,000	(+100千円) 実績勘案+市町村個別訪問、組成調査参加等	700,000	(+100千円) 市町村対応等の増	100,000	
7. 会議費	上記1～5の事業に関わる会議費(会場費等)			600,000	(▲100千円) 会議の同日1日実施等効率化による削減	700,000	(±0) 実績勘案	▲ 100,000	
8. 交際費	上記1～5の事業に関わる交際費			200,000	(±0) 実績勘案	200,000	(±0) 実績勘案	0	
【2】事務費				12,550,000	(±0)	12,550,000	(±0)	0	
	①事務経費			12,500,000	2019年度と同額を計上	12,500,000	2018年度と同額を計 上	0	
	②予備費			50,000	2019年度と同額を計上	50,000	2018年度と同額を計 上	0	
当年度収入合計-支出合計				0		▲ 2,678,000			
剰余金				31,799,727	見込	33,280,092	見込		

2020年度- 理事会、通常総会、四半期-運営委員会 日程

理事会・通常総会

開催日時	会議名	開催場所
2020年 4月15日(水) *1	第87回-理事会	書面開催
2020年 4月21日(火) 15時-16時 *2	第29回-通常総会	乳業会館 3階 B/C会議室
2020年12月11日(金) 15時30分	第88回-理事会	乳業会館 3階 A会議室
2021年 3月18日(木) 15時30分	第89回-理事会	乳業会館 3階 A会議室
2021年 4月22日(木) 14時	第90回-理事会 第30回-通常総会 第91回-理事会	乳業会館 3階 A会議室 乳業会館 3階 B/C会議室 乳業会館 3階 A会議室

*1 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面開催とした。

*2 新型コロナウイルス対策実施(時間短縮、出席社1名に限定)

四半期-運営委員会(新型コロナウイルス対応(縮小または書面開催実施)を都度判断する)

開催日時	会議名	開催場所
2020年 5月20日(水) 15時	第1四半期-運営委員会	乳業会館 3階 C会議室
2020年 8月19日(水) 15時	第2四半期-運営委員会	乳業会館 3階 C会議室
2020年11月11日(水) 15時	第3四半期-運営委員会	乳業会館 3階 C会議室
2021年 2月17日(水) 15時	第4四半期-運営委員会	乳業会館 3階 C会議室

以上

飲料用紙容器リサイクル協議会・3R推進団体連絡会 事業報告

●3R推進団体連絡会設立の経緯(「容器包装リサイクル法の目的達成への提言」より)

2005年10月、(社)日本経済団体連合会(当時。以下、経団連)は、提言「実効ある容器包装リサイクル制度の構築に向けて」を取りまとめ、事業者の自主的な取り組みが重要であること等を表明した。この提言を受け、容器包装の素材に係るリサイクル八団体(以下、「関係八団体」)は、3R推進団体連絡会を結成し、2005年12月、「容器包装リサイクル法の目的達成への提言」と題する提言を行い、事業者の決意をあらためて表明すると共に、翌2006年3月に 2010年度を目標年次とした自主行動計画を発表した。

※「第3次」にあたる現在の自主行動計画「自主行動計画2020」は2016年6月に策定。

I. 事業者自ら実践する3R行動計画

- 1 リデュースの取り組み 2 リユースの取り組み 3 リサイクルの取り組み
- 4 普及啓発の推進等(①容器包装の3Rに関する普及啓発・情報発信 ②その他環境保全や海洋プラスチックごみ問題に関する普及活動等)

II. 主体間の連携に資するための行動計画

- 1 意見交換会「容器包装3R交流セミナー」
 - ① 福岡市(7/26) ②京都市(11/22) ③秋田市(2/13)
- 2 3R市民リーダー育成プログラム
 - ① 容器包装 市民リーダースキルアップ研修：乳業会館(12/24)
市民リーダー育成講座(3/7 町田市)は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
 - ② 自治体意見交換会：乳業会館(10/3)
- 3 第14回 容器包装3Rフォーラム：千代田区(1/28)
- 4 展示会への出展・イベントへの協力
 - ① (公社)全国都市清掃会議(川崎市 5/22・23、四日市市 10/24)
 - ② 3R推進 全国大会(新潟市 10/29)
 - ③ エコプロ2019における8団体共同ブース、クイズラリー(12/5-7)
5. 情報冊子の配布・ホームページの公開等

※フォローアップ報告

- ① 経産省資源循環経済課、環境省リサイクル推進室、
農水省食品産業環境対策室(12/2)
- ② 経団連 容リ懇談会(12/3)
- ③ 記者説明会(12/11)

● 飲紙協の役割

副幹事長、フォーラム事業(主幹事)、市民リーダー育成事業(副幹事)

以 上

2020年4月21日 第87回通常総会 終了時点

全国牛乳容器環境協議会 役員名簿

	役職	氏名	所属・役職
1	会長	原田 裕司	(株) 明治 常務執行役員 生産本部長
2	副会長	草野 茂実	森永乳業(株) 常務取締役
3	副会長	城端 克行	雪印メグミルク(株) 専務執行役員
4	副会長	上田 晃司	日本テトラパック(株) 取締役副社長 営業統括
5	副会長	大林 保仁	日本製紙(株) 執行役員 紙パック営業本部長
6	常務理事	後藤 拓志	一般社団法人 日本乳業協会 常務理事
7	理事	岡田 臣弘	一般社団法人 日本乳業協会 専務理事
8	理事	丸山 章	全国乳業協同組合連合会 専務理事
9	理事	前田 浩史	一般社団法人 Jミルク 専務理事
10	理事	松久 浩二	よつ葉乳業(株) 常務取締役
11	理事	八木 正彦	西武酪農乳業(株) 取締役 工場長
12	理事	川口 稔	北越パッケージ(株) 取締役 営業本部長
13	理事	田村 亮一	石塚硝子(株) 執行役員 ペーパーパッケージカンパニー社長
14	理事	新居 善次	凸版印刷(株) 生活・産業事業本部 パッケージソリューション事業部 第一営業本部長
15	理事	山内 正己	東京製紙(株) 容器事業部長
1	監事	木下 善文	大日本印刷(株) 包装事業部 副事業部長
2	監事	竹内 武臣	協同乳業(株) 取締役 環境対策室長

顧問の委嘱について

下記のとおりご報告いたします。

記

1. 対象者 : 後藤 拓志 (現、常務理事)
2. 事 由 : 2020年度は新たな行動計画を策定する年度だが、マンパワー不足の中、着実な成果が求められることから、該対象者の持つ専門知識を引き続き活用するため。
3. 開始日 : 2020年5月15日
4. 補 足 :
 - ※規約 第10条② 必要に応じ、本会は顧問を置くことができる。
 - 第10条③ 顧問は、理事会の承認を得て、会長が委嘱する。

以上